

市指定文化財 刊本「自然真営道」の県重宝指定について

1. 経緯

- ・昭和48年、村上壽秋氏^{むらかみとしあき}が旧南郷村島守の実家の土蔵から発見。
- ・平成10年6月23日、八戸市有形文化財に指定（令和2年、村上家より八戸市に寄贈）。
- ・令和4年10月14日、県による文化財調査。
- ・令和5年3月22日、県文化財保護審議会から指定の答申を経て、県教育委員会定例会において県重宝指定の決定。

2. 概要

(1) 種別

県重宝（書跡・典籍）

(2) 名称及び員数

刊本^{かんぼん}「自然真営道^{しぜんしんえいどう}」 3巻

(3) 所有者

八戸市（市図書館にて保管）



刊本「自然真営道」

(4) 文化財の特徴

①「自然真営道」は、江戸時代後期に八戸に居住した医師であり思想家の安藤昌益^{あんどうしやうえき}が提唱した、万人が平等に自ら耕して自給自足する「直耕」を通じ、自然の循環の中で生きていく「自然の世」の実現を記した著書。刊本は国内に当市図書館所蔵（八戸本）、慶應義塾大学所蔵（慶應本）、北野天満宮所蔵（北野天満宮本）が現存（計3冊）。いずれも奥付に「寶曆三^{みずのととり} 癸酉三月」（1753）と記載。

②当市所蔵本は初版本で、慶應本と北野天満宮本は後刷り本。

※主な違いとして、第3巻は江戸幕府の定めに触れたことで部分的に差し替えられており、八戸本は差し替え前のため、昌益の思想が忠実に現れている文章が残る。

③本書には、安藤昌益の高弟である神山仙庵^{かみやませんあん}寿時の印、及び仙庵の筆によると思われる多くの注記が認められることから、かつて仙庵が所蔵していたと考えられる。

(5) 指定事由

刊本「自然真営道」は、安藤昌益研究の根本史料とされている。全国に3組しか現存しないうち、唯一の初版本であり希少性が極めて高いため。また、元々の所有者が昌益の一番弟子の神山仙庵であり、仙庵自身の解説が認められるとともに、昌益の教えに迫ることから、史料的な価値は極めて高く、指定に値する。

3. 今後について

(1) 市指定解除

県重宝（県報告示日＝指定日（4月中旬頃予定））となることから、県市の二重指定を避けるため、市指定解除について5月開催予定の市文化財審議員の会議に諮問予定。

(2) 図書館での閲覧

2階安藤昌益コーナーに複写物を配架し、公開中。また、同所には資料全文の書き下しと、現代語訳が掲載された『安藤昌益全集』第13巻も配架済。

令和6年度小学校入学予定者就学に関する説明会の実施について（報告）

今年度より年中児の保護者対象の「令和6年度小学校入学予定者就学に関する説明会」を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 主 旨 八戸市に設置されている様々な学びの場やそこで学ぶ意義、学びの場を検討する流れ等についての保護者の理解を進める。
- 2 実施日時 令和5年2月18日（土） 10：00～11：30
- 3 会 場 八戸市総合教育センター 大研修室・第一研修室
- 4 対 象 令和6年度小学校入学予定者の保護者（希望者）
市内幼児教育・保育施設職員（希望者）
- 5 参加人数等 令和6年度小学校入学予定者の保護者 66名（47家族）
市内幼児教育・保育施設職員 15名
- 6 内 容
 - ・多様な学びの場（通常の学級、特別支援学級、特別支援学校等）に関する情報
 - ・就学先決定までの手続きと流れ
 - ・入学後の学校生活
 - ・就学相談先の紹介
- 7 そ の 他
 - ・説明会には、両親、祖父母等の参加もあり、特別支援教育に関する関心の高さがあることがうかがえた。
 - ・説明会后、個別の相談を希望する保護者も複数いた。